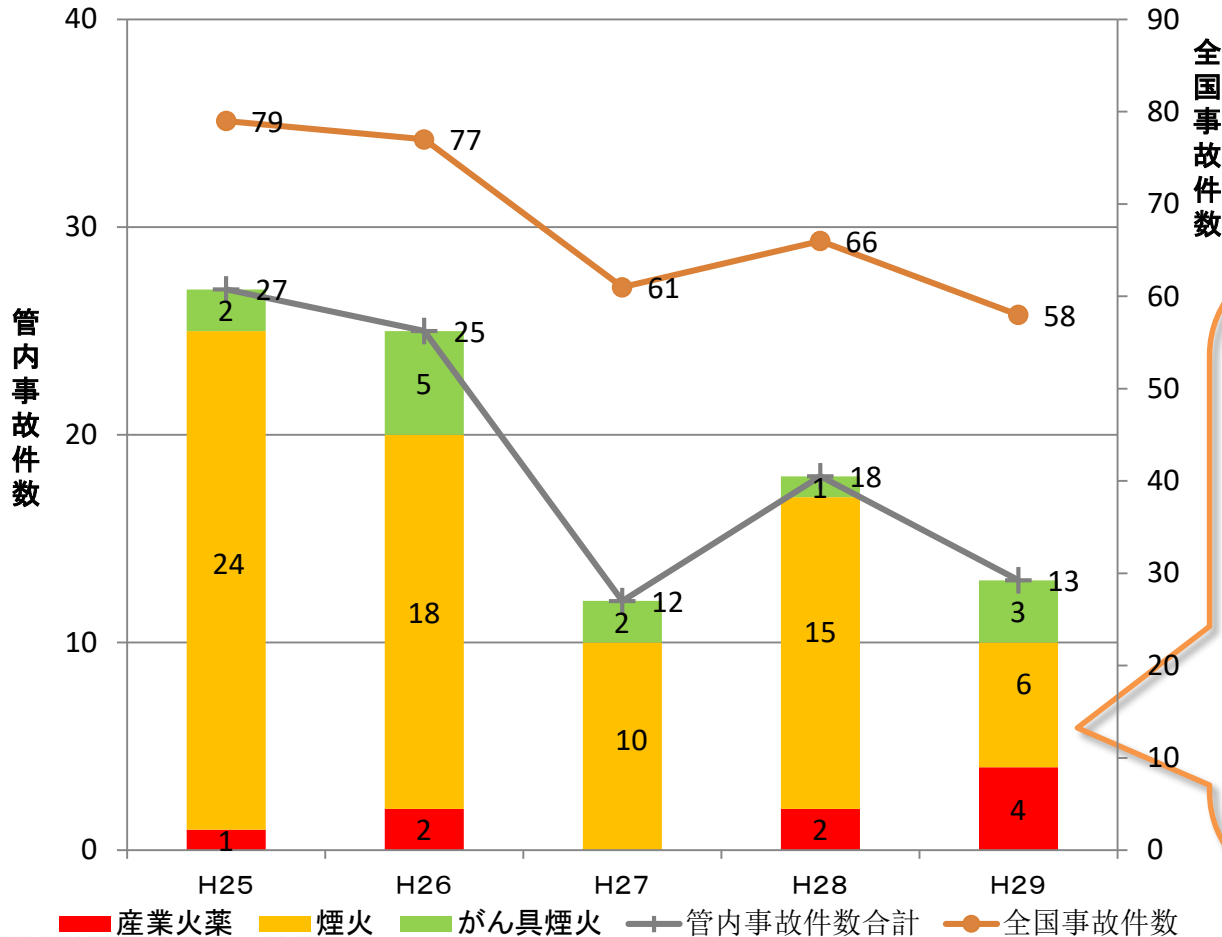


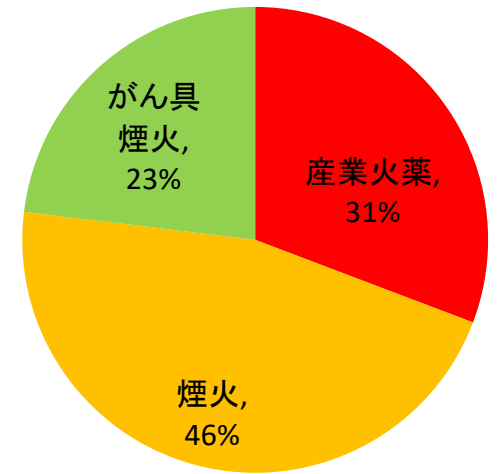
事故件数(火薬類)

- 平成29年(1月～12月)の管内事故件数は13件であり、煙火による事故件数が減少したことにより前年から5件減少した。
- 平成29年事故概要別比率は、比率が高い順に、煙火6件(46%)、産業火薬4件(31%)、がん具煙火3件(23%)となっている。
- 平成29年の煙火の事故件数及び比率は、平成25年以降の5年間で最も小さい値となった。一方、平成29年の産業火薬の事故件数及び比率は平成25年以降の5年間で最も大きい値となった。

■平成25年からの事故概要別管内・全国事故件数の推移



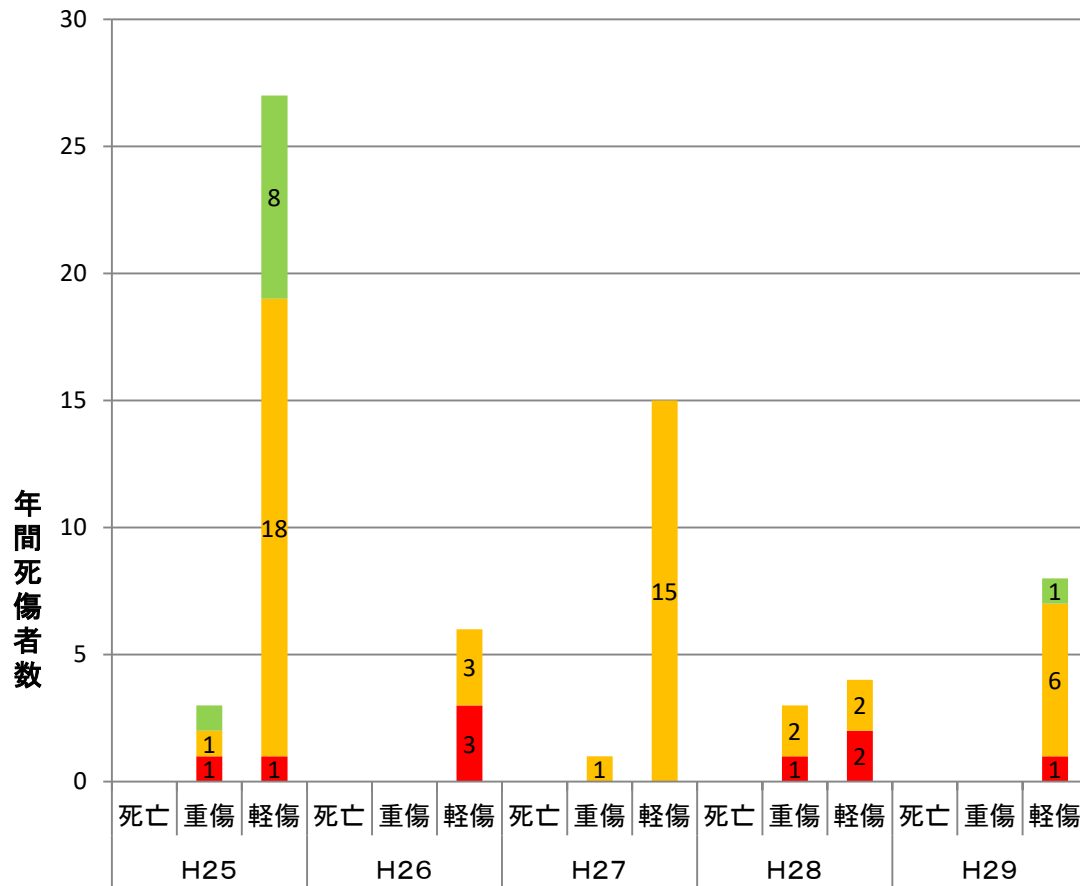
平成29年事故概要別比率



管内死傷者数(火薬類)

- 平成29年の負傷者数は8名であり、前年に比べ1名増加した。
- 平成29年の事故概要別死傷者数比率は、煙火6名(75%)、産業火薬1名(13%)、がん具煙火1名(13%)であった。
- 平成29年の死傷者は、平成26年以降2年ぶりに軽傷者のみとなった。

■平成25年からの事故概要別管内死傷者数の推移



■ 産業火薬 ■ 煙火 ■ がん具煙火

平成29年事故概要別死傷者数比率

